

3 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 「京(みやこ)あんしんこども館」を知っていますか？



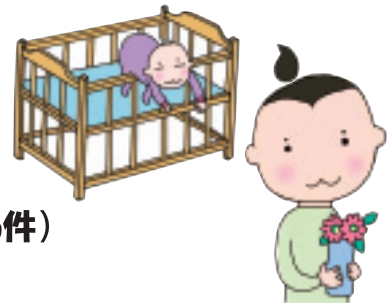
- ◆京都市が8年前に梅屋小学校跡地に子どもの安心・安全を守るために作った施設です。
- ◆子どもの病気や育児の不安の相談にベテラン小児科医・保健師・看護師が対応します。
- ◆子ども達に発生しやすい事故の調査と事故を減らすために予防対策を考えています。
- ◆8年間の来館者：21,297名（個人12,038名・団体9,259名）
- ◆8年間の保健医療相談：8,806件（電話相談7,571件）



◆◆◆◆◆事故のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました◆◆◆◆◆

今回の情報 転落場所…

- 1位 ベッド（ベッド 322件・ベビーベッド 54件）
- 2位 ソファー 159件
- 3位 椅子（ベビーチェア 57件・椅子 52件・チャイルドシート 6件）
- 4位 階段 73件
- 5位 住宅設備（段差 39件など）



京都市の乳児期の事故調査では2,510人の返事をいただき、事故ありと回答があったのは1,102人で1,578件ありました。1番多い事故は転落で870件55%です。

1歳までに半数以上の子がベッド（ベビー用・大人用）・ソファー・階段・椅子などから転落しています。動かないはずの3か月までの乳児でも泣いて手足を動かすとお尻が動き落ちることがあります。59件(6.8%)です。

1歳を超えると階段や、段差のあるところからの転落が多くなります。フローリングや畳などいいですが、衝撃を和らげるために転落しそうな場所の床に毛布やじゅうたんを敷くなどしてください。コンクリートへの直接転落は怖いですが、転落後、泣いても、抱っこすると泣き止みいつもと同じに見えたら、安心ですが、数時間は吐かないか、おっぱいをいつものように飲むかを観察してください。吐く、機嫌が悪い時は受診してください。脳内に出血しているかもしれません。

ワンポイント

子どもは何歳になってもお母さんの後を追っかけます、3か月未満の乳児でもいっしょです。ベッドに置かれた時も、離れていくお母さんを追いかけてようと移動します。大きくなったら言い聞かせてから離れることを忘れないでね。

何をしているの？

- * 来館者にはセーフティハウスの見学と家庭内事故防止について説明しています。
- * 団体来館者には見学と小児科医による「子育て不安」、「児童虐待」「家庭内事故」等の話をしています。
- * 講習会ではお子さんの「心肺蘇生法講習会」、「チャイルドシート装着、幼児2人同乗用自転車の講習会」もしています。
- * 子どもの事故防止実践・応急手当マニュアルを進呈します（無料）。

場所は？

中京区釜座通丸太町上る梅屋町
（第二赤十字病院南隣）
TEL 代表 075-231-8002
相談 075-231-8005
FAX 075-231-8003
<http://www.anshinkodomokan.jp>